

## OB会 安達太良山スノーシュートレック山行記録

横須賀山岳会 鳥切記

期 日:2010年3月8日(月)~3月9日(火)

場 所:福島県 安達太良山(1700m)

メンバー:原 和雄(78才) 大和義孝(73才) 田辺浩二(73才) 横山高明(71才)  
鳥切昇治(69才) (敬称略)

### 行動記録

3月8日(月) 天候:曇時々晴間 自宅→あだたら高原 スノーシュー散策

東京駅の東北新幹線ホームで全員が落ち合う。79歳の原さんを頭に高齢のOBの皆さんが、通勤ラッシュの中を元気な顔をみせた。今回からOB会員に復帰した横山さんが参加した。

東北新幹線の自由席は空いていた。郡山で在来線に乗り換え、二本松に予定通り到着。ジャンボタクシーであだたら高原に向う。岳温泉を過ぎるあたりから雪が見られるようになる。この辺りは積雪が少ないようだ。程なくあだたら高原スキー場内のあだたら高原富士急ホテルに入る。天気良きそうなので散策することにする。部屋で支度をして外に出る。

スキー場は積雪が少なく、雪はザラメである。陽が射していて、滑っているのはボーダーばかりである。レストハウスで昼食後、ゴンドラで上に上る。ホテル宿泊者は、ゴンドラ料金が半額で大いに助かる。

ゴンドラ終点で運転終了時間を確認し、スノーシューを着け、安達太良山に向って歩き始める。低い五葉松の林の中を行く。石楠花は葉を固く閉じてじっと春を待っている。ツツジの芽が大分膨らんでいる。トレースと赤布の標識がずっと付いている。上は寒いが雪質は良い。仙女平分岐から30分程登った所で引き返す。視界は良く、安達太良山の頂上が見える所まで



あだたら高原スキー場



は行けなかったが、明日の足慣らしが出来た。ゴンドラで下に降り、ホテルに戻る。ホテルの温泉は露天風呂もあり、温まり、気持ちが良い。宿泊客は結構多く、若者ばかりだった。

往路;東京 9:32—(東北新幹線やまびこ47号)—10:55 郡山 11:06—11:29 二本松 11:35—12:05 あだたら高原 (あだたら高原富士急ホテル泊)

ゴンドラ終点 13:35—仙女平分岐—14:35 引き返し点 14:48—15:30 ゴンドラ終点—15:45 ホテル

### 3月9日(火) 天候:曇後雪 安達太良山登山 帰途

朝、外を見ると高曇り。チェックアウトしてホテルを出発。横さんがゴーグルを忘れて取りに戻る。今日はスノーシューを着けずに歩くことにする。ゴンドラ終点(薬師岳:標高 1350m)から歩き始めるが、視界が悪く時折ガスがかかる。昨日より風が冷たく寒い。我々の他は誰もいない。昨日の引き返し点を通過して登って行くと岩がゴロゴロと出始める。低い灌木も出ていて、雪が非常に少ない。溶岩が突き出た基部に着いた。安達太良山山頂碑が建っている。ガスでもやっている溶岩突起の乳首に登る。鎖場の鎖が雪で埋り、2~3



安達太良山山頂で記念撮影



m程悪い所があるが二等三角点のある山頂(標高1700m)に着いた。ガスで景色はまるで見えない。

写真撮影してから慎重に下まで降りる。女性を含めたパーティが登って来た。始めてあった登山者だ。風もあり寒いので下山することにする。スノーシューを着けずに下る。仙女平分岐の風の無い所で大休止。各自持参してきた昼食とコンロで

お湯を沸かして「おしろこ」を食べる。

ガスが更に濃くなり視界は悪い。ゴンドラ終点までは直ぐだ。ゴンドラに乗ってスキー場のコースを眺めると地肌が出ている所が目立つ。雪が降り出した。ホテルに戻り、タクシーの手配をして温泉に入る。昼間の温泉はゴキゲンゴキゲン。温もった体で、雪が降りしきるあだたら高原を後にした。

ホテル 8:25—ゴンドラ終点 8:52—9:25 仙女平分岐 9:30—10:17 安達太良山頂上分岐—10:25 安達太良山山頂 10:52—11:14 仙女平分岐 12:00—12:18 ゴンドラ終点—12:30 ホテル

帰路;ホテル 13:55—14:20 二本松 14:42—15:05 郡山 15:33—(東北新幹線つばさ 118号) —16:55 東京(解散)

以上